

様式第 1 号 防火対象物、製造所等の概要表記載要領

- ① 概要表の表題 ・概要表の表題は、危険物許可施設に係る場合は、「製造所等」を選択し、それ以外の場合は「防火対象物」を選択する。
- ② 名称 ・当該防火対象物、製造所等の名称を記入する。名称未定の場合は、仮称又はその時点での通称名を記入する。
- ③ 所在地 ・当該防火対象物、製造所等の所在地を記入する。
- ④ 用途 ・消防用設備等又は特殊消防用設備等を設置する防火対象物、製造所等全体の用途を記入する。用途が 2 以上あるものについては、主たる用途から順次 3 つまで記入する。
- ⑤ 階数(階層) ・建築基準法施行令第 2 条により記入する。
- ⑥ 敷地面積 ・同上
- ⑦ 建築面積 ・同上
- ⑧ 延べ面積 ・同上
- ⑨ 主要構造部分 ・全体の構造を建築基準法第 2 条より選択する。
- ⑩ 区別 ・防火対象物、危険物施設の工事について該当するものを選択する。  
・防火対象物、危険物施設の当該新築・増築等の工事が建築確認申請を要する場合は、消防同意年月日及び消防同意番号を記入する。
- ⑪ 階別 ・当該防火対象物、危険物施設すべての階を、階の下のものから順次記入する。ただし、既存の建物で、消防用設備等又は特殊消防用設備等を部分設置又は移設するときは、当該階のみを記入することができる。
- ⑫ 有窓・無窓 ・当該階が有窓階である場合は「有窓」、無窓階である場合は「無窓」、地階である場合は「地階」と記入する。  
無窓階……消防法施行規則第 5 条の 2 に規定する階  
有窓階……無窓階、地階以外の階
- ⑬ 床面積 ・建築基準法施行令第 2 条により記入する。
- ⑭ 用途又は室名 ・当該階の用途のうち主たるものを記入する。
- ⑮ 構造 ・当該階の構造を記入する。  
R C……鉄筋コンクリート造  
S……鉄骨造  
S R C……鉄骨鉄筋コンクリート造  
その他……R C 造、S 造、S R C 造以外の構造
- ⑯ 収容人員 ・消防法施行規則第 1 条の 3 に定められた方法により算定した人数を記入する。  
・用途が未定のときなど収容人員が算定できない階があるときは、未定等と記入し、その理由を特記事項欄に記入するとともに、届出後追加・訂正する。
- ⑰ 内装仕上げ ・不燃材料、準不燃材料、難燃材料、可燃材等の別を天井、壁別に記入する。

① 防火対象物 } の概要表  
製造所等

様式第1号

建築物の概要									
② 名称		〇〇〇〇ビル		③ 所在地		〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号			
④ 用途		住居・事務所・店舗		⑤ 階数(階層)		地上 6階 地下 2階 塔屋 1階			
⑥ 敷地面積		932.86㎡		⑦ 建築面積		501.15㎡		⑧ 延べ面積	3816.1㎡
⑨ 主要構造部		耐火構造 ・ 準耐火構造 ・ その他 ( )							
⑩ 区分		新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 既存 ・ その他 ( )							
		消防同意年月日		H6・4・1		消防同意番号		第 〇〇〇 号	
⑪ 階別	⑫ 有窓・無窓	⑬ 床面積	⑭ 用途又は室名	⑮ 構造	⑯ 収容人員	⑰ 内装仕上げ		特記事項	
						天井	壁		
B2F	地階	421.30㎡	機械室	RC	2人	不燃材料	不燃材料		
B1F	同上	432.65㎡	飲食店	RC	130	同上	同上		
1F	有窓	456.66㎡	物販店	S	110	同上	同上		
2F	無窓	496.01㎡	事務所	S	90	同上	同上		
3F	同上	同上㎡	同上	S	90	同上	同上		
4F	有窓	同上㎡	共同住宅	S	20	準不燃材料	準不燃材料		
5F	同上	同上㎡	同上	S	20	同上	同上		
6F	同上	同上㎡	同上	S	20	同上	同上		
塔屋		25.44㎡							
		㎡							
		㎡							
		㎡							
		㎡							
特記事項・その他									

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
2 消防用設備等の設置に係わる階について、各階ごとに記入すること。